

強みは顧客の課題を解決する高い技術力
経営改善に取り組み業績を回復



4人のエンジニアが新たに会社を設立

エンジニア・技術マーケティングとして、省力化機械メーカーに勤務していた岡 文夫社長。その会社の経営が行き詰まったことから、同僚のエンジニア3名と立ち上げたのが株式会社クローバーでした。「もともと取引のあったお客様から、メンテナンスを頼まれたんです。当初はそれぞれ個人事業主としてやっていくつもりだったのですが、取引条件として法人化する必要が生じたため、一番年長だった私が代表を引き受けることになりました。前の会社の時からお取引先の信頼が厚かったことが幸いして、メンテナンスだけでなく新たな発注をいただくようになった」と岡社長。とはいえ、経営はまったく初めてのことで、「今

思うと事業を簡単に考えていました。仕事は切れ目なくあるのに収益が上がらず、資金繰りで長く苦勞することになりました」と創業当時を振り返ります。

創業支援強化事業の経営診断を受診

優れた設計技術を有するものの、製造・加工を外注に依存し、経営管理も十分でなかったことから、平成28年9月期に赤字決算となり、経営改善策を講じることが喫緊の課題となりました。

そんな時、滋賀県信用保証協会から経営診断を勧められ、29年10月に受診。経営診断結果に基づき、工程管理や費用管理等の課題解決に取り組むようになりました。加えて、新たに社員を採用することで受注増にも応えられるようになり、いくつかの

特許販売権も取得しました。

そして、さまざまな改善策が功を奏して、業績が回復、30年9月期には2期連続して黒字を達成することができました。

外国人技術者を新たな戦力に

かねてより国内の技術者がどんどん減っていくことに危機感を覚えていた岡社長は、中国人の技術者を採用することに踏み切りました。

中国人の技術者は、日本語を習得した後、日本と中国を往来しながら、中国の現地スタッフを取りまとめています。

現在、同社は日本の学校で学んだベトナム人の技術者も正社員として雇用しています。「技術はまだまだこれからだが、向上心があって何事にも熱心に取り組んでいる」と高く評価する岡社長。「採用で大切なことは人柄、人間性に尽きる。技術は徐々に身につけることができるが、人間性が噛み合わないと一緒に良い仕事はできない」と語ります。

精度の高い製品開発で顧客の要望に応える

主な顧客は自動車部品メーカーや電気機器メーカーなどで、自動車関連部品の製造ラインの設計・製作やメンテナンスを請け負うためには、厳しい条件をクリアすることが求められます。安全管理などに関する指定の講習を受け、資格を持っていないと工場内に入ることもできません。同社では全社員が資格を持っていることが、強みの一つになっています。

さらに、精度の高い製品を開発してきた実績から、自動車部品メーカーの社長賞を受賞するなど、取引先から高い評価を得てきました。

『5G』を活用する新プロジェクトにも参加

同社では、次世代通信技術『5G』を活用して、人が行っていた情報処理をAIなどで自動的に処理することで、人の手を必要と



する作業を大幅に低減することを目指した、新たなプロジェクトにも着手しています。「5Gなくして次世代のものづくりはできない。ビジネスも私たちの生活も大きく変わることになる」と言う岡社長。将来を見据えた人材育成も念頭に置きながら、事業を展開していきたいと今後のビジョンを描いておられます。

Message

今ある技術力に慢心することなく、社会の変化を見据えたものづくりで未来を拓く



お客様に恵まれていたおかげで、設立以来仕事が途切れることなく、ここまで来ることができました。

当社の技術に対して、お客様から厚い信頼をいただけることはたいへんありがたいことですが、これに慢心することなく、将来の技術や社会の変化を見据えて、それに対して何ができるのかを見極めていかなければいけないと思っています。

5Gが実用化される30年後の社会では、ものづくりだけでなく、小売業を含むビジネスも、私たちの暮らしも大きく変わります。どんな業種であっても、通信技術の進歩とAIやIoTを視野に入れて、事業を展開していくことがこれからは必要になると考えています。



企業データ

本社／東近江市今堀町618
設立／平成26年3月
従業員／9名
事業内容／製造業
(各種自動機・省力機械の設計製作)
ホームページ／
<http://www.clover-428.com>



企業ポリシー

- 高い技術力を持って顧客の課題解決に真摯に向き合い信頼に応える。
- 次世代の技術や社会の変化を見据え、新たなものづくりに挑戦する。
- 社員の人間性を重視し、真に優れた技術者の育成に取り組む。